てんかん認定 通信 第3号

2015.9月 発行: てんかん認定看護師

小児病棟の紹介

A4 病棟、A5 病棟では、乳児・幼児・学童児などのお子 さんが、お母さんと一緒の母子入院をしています。中には単 独で入院をしているお子さんもいます。

全国各地から来院されており、検査が主である短期入院の 方、発作治療を目的とした長期入院の方など、お子さんとお 母さんと共にがんばっています。

来月の活動予定

10月27日(火)の認定活動 日に、各病棟ヘラウンドに行き ます。

てんかん看護において何か困っ ていること、疑問に思うことな どがありましたら、お気軽にお 声をお掛けください。

てんかん治療と並行して乳幼児の療育、及び学童児の日常生活の自立・学校教育(院内学級) という成長発達に応じた働きかけも、多職種と共に行っています。

また、単調な入院生活の中で、行事を通じて少しでも季節感を味わいながら、親子で楽しむ時 間がもてるように年間を通してレクリエーションを行っています。



☆夏祭り☆

病棟の出入りルームがお祭り会場に♪

- ・ヨーヨーつり
- がたがたボーリング
- ・ すいかわりゲーム などなど

何本倒せるかな?







たのしいね!



9月7日、名古屋医療センター附属看 護助産学校の看護学生が、当院の様子を 見学に来ました。

てんかん認定看護師による講義では、 成人・小児のてんかん発作のある患者様 に対する看護について話をしました。

これから看護師を目指す人たちに、専 門的立場から「てんかん」という病気と その看護を理解してもらうことで、てん かんについての認知が広がり、全国の患 者様が社会生活を送るにあたり生じる問 題が解決されることになると思います。

こういった活動を目標に、今後も認定 活動に取り組んでいきます。